

## 私の留学体験記

広島県立福山誠之館高等学校 2年 片桐 結花 (かたぎり ゆうか)  
留学期間 令和5年12月9日(土) ~ 12月23日(土) (15日間)  
留学先 ①Oslo Handelsgymnasium 高校 ②Amalie Skram 高校  
(ベルゲン・オスロ、ノルウェー)

私は12月9日から、12月23日までノルウェーの留学に参加しました。

初めて英語を話そうと試みたのは、行きの飛行機の中でした。外国人のCAさんに質問をしようとしたのですが、全く伝わりませんでした。その日は、ノルウェーで上手くやっていけるか不安でしたし、自分の英語力を今まで高く見積もりすぎていたことを実感しました。英語での日本人との授業内での会話や面接はしたことがあっても、実際にプライベートで海外の方と英語で会話をしたことは無かったので、自分の経験が浅いことに気が付きました。

最初に行った Oslo Handelsgymnasium 高校では、優しい先生と生徒の皆さんにたくさん支えて頂きました。授業は話し合いや発表などの発言の機会が多く、慣れない形式の授業に戸惑うこともありましたが、聞き取りが難しい単語は言い換えてくれたり、プレゼンの際に映像を見せてくれたりして、多くの優しい人たちの中で楽しく授業に参加することができました。

姉妹校の Amalie Skram 高校では、現地の文化に触れられる催しに参加させて頂きました。クリスマスライブや生徒の皆で食べる朝ごはんなど、日本にはない伝統をたくさん学ぶことができました。

授業にも参加して、私が通っている高校には無い科目をたくさん体験することができました。中でも、一番印象に残っている授業は、picture です。それぞれの生徒が興味を持ったことを積極的な姿勢で学び、先生に自分から質問に行ったり、見栄えの良い写真の編集方法を研究し、私に紹介してくれたり、使うのが難しい機材やアプリを使いこなしていて、机に向かってシャーペン握るだけが勉強じゃないということを知って驚きました。

現地の他の高校や大学にも連れて行ってもらい、日本ではあまり聞かない勉強の方針や生徒の勉強に対する姿勢を教えて頂きました。日本に帰っても活用できそうなことがたくさんあって、もっと意見交換の場を大切に、頑張りたいと思いました。

ホームステイは、兄弟が多い家庭に呼んで頂き、緊張しましたが、皆が温かい人で、安心して生活することができました。日本のお土産を渡したら本当に喜んでもらえて、渡したものについて説明しながら関連する日本のものについて色々紹介しました。ノルウェーの学校生活だけでなく、ホストファミリーの皆と過ごした時間は私にとって宝物になりました。

私にとって初めての留学、初めてのヨーロッパで緊張することがたくさんありましたが、うまく行かなかったことや不安に思うことが多かったです。しかし、ホストファミリーの人や学校の生徒の皆にたくさん助けてもらって、いつも安心して楽しく勉強することができました。学んだことは、英語は勿論ですが、私は留学を通してノルウェーの方々の温かさを知ることができました。できるだけたくさんの感謝を伝えたくて Thank you をたくさん言いました。でも、それだけでは足りなくて、ノルウェー語の「ありがとう」の意味の言葉を何個かガイドの方に教えてもらって、たくさん使うようにしていました。最初は不安が一番強かったのですが、ノルウェーの人と関わっていくうちに、もっとたくさん色々なことを知りたいと思うようになりました。15日間が本当に短いと感じました。

留学を通して得たものはたくさんあると思いますが、一番はノルウェーの温かい人々や友だちになってくれた人々と出会えたことが、私にとって行ってよかったと思う理由です。

ノルウェーでできた友達は一生の私の大事な宝物です。

